



2021-2022
国際ロータリーのテーマ

高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY

国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2022.5.18
第52巻
第38号
通巻
2458号

ロータリー月間 青少年奉仕 来月:ロータリー親睦活動 特別 月間

5月8日 例会より

『2021—22 新井和雄 D G 年度地区大会本会議 』

**3年ぶり万全の対策の下 第2820地区大会
つくば国際会議場にて開催
第2日 本会議に1000名 参集**

2019—20年度中村澄夫ガバナー主催の地区大会は中止となり、次の2020-2021池田正純ガバナー主催の地区大会が2021年5月23日、ハイブリッド大会として、役員は本会場集合、会員は地元の例会場で視聴として開催された。



今年度は、3年ぶりに全会員会場集合として、つくば国際会議場で開催された。上は、国際ロータリー会長代理、キラン・ラル・シュレスタ氏（第3292地区ポカラRC,ネパール）の挨拶。右端は令夫人、左側は通訳の女性。

ネパールの第3292地区は、長年学校づくりなど支援を続け、2年前に、友好地区の締結をしたところである。ステージ中央左は、ガバナーと令夫人の席で、会長代理のスピーチを聞いている。

第1日 地区会長幹事会

鈴木直登会長 全クラブの代表として受賞



第1日目は、10時開会。地区会長・幹事会

上の写真は、第1日の冒頭、2020—21年度ホルガー・クナーク会長年度のロータリー賞の授与である。

受賞全55クラブを代表し、当クラブ鈴木直登会長が登壇し、池田正純直前がバナーより、授与伝達された。

12時から、登録委員会、決議委員会、選挙管理委員会、プログラム委員会、資格審査委員会、広報委員会の各種委員会が開催された。

15時から地区指導者育成セミナーとして、田中作次、国際ロータリー元会長の講演をいただいた。テーマは、『クラブ強化と世界の中のロータリー』である。

月 日	プログラム	担 当	5月8日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
5月11日	特別例会(奨学生来訪)	米山奨学委員会			
5月18日	3団体合同例会ト	会長・幹事	28	13	15
5月25日	青少年奉仕	青少年奉仕委員会	出席率: 100%		
6月1日	2024ガバナー年度への構想	支援準備委員会	前々週訂正: 100%		

事務所: 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505

■URL: <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 鈴木直登

幹 事: 小森勇一

例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ向上委員: 小森勇一 大河原浩 大高司郎

田所和雄 石平光 今川隆 大平敏明 滝徳宗

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

18時から、会場をホテル日航つくばに会場を移し、国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会を開催した。晩さん会には、鈴木直登会長、小森勇一幹事が出席した。大高司郎総括委員長は、ガバナーノミニー・デジグネートとして、来賓として紹介された。

第2日は、鈴木啓志、鈴木国男、江尻 寛、石 君平、田所和雄 大河原浩、今川 隆、平野 浩司、大平敏明、滝 徳宗会員と、合計13名の皆さんが参加していただいた。

早朝7時、常陽銀行高萩支店前を出発、8時30分の登録、9時開会、点鐘に間に合わせていただいた。

本会議は約900名が参加した。



上 第1日地区の現況報告（早瀬浩一地区幹事）

本会議の進行

大会は両日とも、RI 会長代理、友好地区の出席に敬意を表し、ネパール国、タイ国、フィリピン共和国、日本国国歌を斉唱した。

本会議では、次に、最近1年間に逝去された15名の会員に黙とうを捧げた。その際、スクリーンには当クラブの上田良三会員、大平義雄名誉会員の遺影も掲げられ、弔意を表した次第である。

続いてプログラムに従い、進行したが、なんといっても、全55クラブの参加者紹介が活気を帯びて大会を盛り上げる。第1分区の皆さんは、ステージに向かって左側に勢ぞろいした。

若い会員の多いところは大きな声を上げて、挨拶していた。

表彰

大会での表彰は、プログラムの冊子に記載されているように、多くの表彰が行われた。本会議は時間が足りないので、前日の会長会議で、大部分を済ませている。

クラブは、ロータリー賞、米山功労クラブとなっていて、会員では、江尻寛さん、今川隆さん、

横倉稔明さんが被表彰者となっている。

なお プログラムには、85歳以上の長寿会員が掲載されている。花園文熙会員が6番目に、江尻寛会員が39番に掲げられている。

大高司郎ガバナーへのスタート



本会議では、大会決議案1号から12号の採択が、満場一致で承認された。

その際、地区指名委員会の報告と決議があり昨年12月9日、指名委員会において、大高司郎会員が、ガバナーノミニー・デジグネートに決定したことが報告された。

上の写真は、新井ガバナーの紹介に続いて、大高司郎ガバナーノミニー・デジグネートが登壇し、7月1日から、ガバナーノミニーとして、活動の決意を表明したところである。

高萩ロータリークラブとしても、新たなスタート地点に立った次第である。

次年度大野年度に向けて



本会議の終盤、恒例となっている、次年度ガバナーホストクラブの登壇である。大きな横幕を掲げ「みんなつくばで楽しもう」と次の地区大会を宣伝した。次年度は、10月29日、30日、ノバホールで開催される。

記念講演

今大会は、「躍進の祭」と称して、記念講演「ロータリーと日米パートナーシップ

一芝染太郎からポリオ根絶まで」というテーマで、早稲田大学教授 勝間 靖先生のお話をいただいた。

ジャパン・タイムズ英字新聞を発行していた、日米交流に深い造詣を持っていた、芝染太郎の業績や、ロータリーの奉仕活動の国際的、実践的な課題について、国際連合ユニセフの職員としての経験を踏まえてお話をいただいた。

大懇親会

当初、ホテル日航つくばで予定されていた、大懇親会は、コロナ禍のなか、実施されず、

国際会議場の中の会議室での昼食、すべての日程を終了した。

今大会の記念品として全会員に、麻製品の素朴なバックが贈られた。これは、友好地区ネパールの製品で、新井ガバナーの発案で、インド経由で輸入されたものである。今大会の意義を象徴する記念品でもあろう。

米山記念奨学会奨学生が来訪



4月より学校がスタートし、米山記念奨学会の奨学生も決定している。

高萩ロータリークラブ

は4月から来年3月まで世話クラブとして、茨城大学大学院2年生の奨学生、エンジーさんを受け入れることとなり、5月11日、はじめて例会場に来ていただいた。

県北の高萩駅に下車するのも初めてということで、田舎の駅前風景に驚いていた様子である。

去る5月8日が地区大会で、移動例会なので、一般会員は振りかえ休会として出席せず、特別例会の対応とした。

例会場では、通常の例会の日程と同じように12時より、昼食とし、その後、鈴木直登会長より、5月の奨学金を授与し、1年間のスケジュールなどを、会長、幹事、カウンセラー担当の米山記念奨学会委員会大平敏明委員長、坪和香織事務局員と打ち合わせ、懇談した。

打ち合わせの内容は、

- ・毎月第1例会に出席し、奨学金を受ける
- ・毎回3分から5分のスピーチを用意する。
- ・内容は学校での学習、日々の生活で感じたことふるさとの紹介など、図自由に、スライドを用意してくれるのも大歓迎
- ・北茨城ロータリークラブに3回程度訪問し交流を深める。その際、カウンセラーが同道する。このようなことの打ち合わせを行い、懇談を終了した。

エンジーさんは物静かな中に、はきはきとして頼もしさを感じさせた。マレーシア国、カリマンタン島、サラワク州出身ということで、田舎から世界に雄飛する気迫を内に秘めている。既に国内の外資系会社の内定をいただいているとのことで、学友会でのこれからの活動も期待できる次第である。



右から鈴木直登会長、奨学生、大平敏明米山記念奨学会委員長兼奨学生担当カウンセラー



上 5月8日のシクラメン

昨年12月22日忘年例会を中止し、親睦家族委員会から贈られたシクラメン、生命力の強さを示し、咲き続けている。